[大会の流れ][試合進行][敗者審判]について

大会前日までに

- ・大会は敗者審判です。1人で審判・記録できますか?事前に"審判の練習"をしておいてください
- ・このプリントを熟読して、「大会の流れ」「記録の仕方」などを、しっかり頭に入れておいてください
- ・当日[健康状態申告書の提出][ゼッケン着用]を忘れると、大会に出場できないので注意しましょう

J

大会当日の心構え:行動

①試合会場へ集合

・顧問の先生に指示された時間に遅れず集合してください

・全員そろった学校から、入口で検温します(検温時間は要項に記載) ※バッグは常に持つ事。観覧席に置いたままにするのは禁止です

J

②組み合わせ確認

- ・トーナメント表を見て、自分の名前と[番号][対戦相手]を確認しよう
- ト―ナメントの山の数字[1-○]は1回戦、[2-○]は2回戦をあらわしています
- 小さい山の1回戦[1-1][1-2]…が全大終わったら2回戦に入ります

(例)

※監督の先生にプログラムをもらったら、まず[自分の番号][初戦の対戦相手][試合番号]を覚えよう。37番の伊波さん(本通中)と38番の尾崎さん(巴中)の試合番号は[1-4]です。勝った方が[2-17]で小板さん(深堀中)と対戦します。プログラムの見方を事前に覚えておいてください。



③試合のコールを聞く

・「中○男子1-4、37番:本通中:伊波さん、38番:巴中:尾崎さん8コートに入ってください」と、マイクでコールされます。※何コートで試合なのか、集中して聞いてください。チーム内で声を掛け合おう!



4コートに入って待機

・<u>先に呼ばれた選手</u>は、記録用紙を取りに本部へ来てからコートへ入る (上記の例だと伊波さんです。2人のうち番号の小さい方になります) ・コートに入ったら、前の試合が終わるまで待機していてください

(前の試合がもう終わりそうなのに…もし対戦相手が来ていないようなら、本部に教えに来てください)



⑤試合を始める!

- ・前の試合が終わって消毒が済んだら、対戦相手と練習して試合開始
- ・試合は原則5セットマッチ(3セット先取)で行います。違反サーブや試合態度については、各校で事前に指導をお願いします
- ・参加人数が多いため、[アドバイス2・4セット] の場合が多くなります アドバイスは1分間なので、審判はストップウォッチで必ず計測を!

⑥負けた選手は…

- ○そのままコートに残ってください!
- ①審判の選手と一緒に台を消毒
- ②次の試合の審判を行う(敗者審判)
- ③1セットごとに記録用紙に記入
- ④次の試合終了後、記録用紙をバイン
- ダーから外して勝った選手へ渡す
- ⑤負けた選手と一緒に台を消毒
- ※ここまで終えたら戻ってOK

審判の生徒は責任をもっ

7勝った選手は…

◎記録用紙を本部へ提出してください

①まず勝敗が正しく記録されているかを確認し、記入漏れがあれば審判の生徒に書かせてください。

②本部へ用紙を提出し、勝った事を確認してもらってください。提出する際は礼儀正しく"お願いします"! ※確認が終わったら戻ってOK

(勝った選手が本部に来なかったり、負けた選手が審判をせずに台からいなくなると…進行が大幅に遅れてしまいます)